

ユーザーマニュアル



JQA-QM8678

スーパーフォグジェットター

SFJ タイプ

R06 2011.12

- ・シーズンインの運転準備
- ・シーズンオフの保管準備



このたびはスーパーフォグジェットターをお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

本書と合わせて、付属の取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の
性格、性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。

—目次—

シーズンインの運転準備

潤滑油の確認	1
試運転	2
・ フィルター点検	3
・ バルブ点検	4

シーズンオフの保管準備

水抜き	6
ノズル清掃	7
水タンク清掃	7
保管	9

シーズインの運転準備

1) 潤滑油の確認

(SFJ1000・1002)

- 前回のオイル交換から120日以上経過している場合は新しいオイルへ交換します。

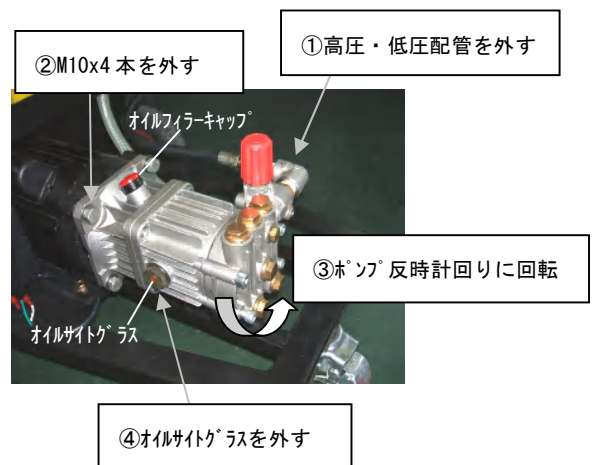
オイルは **SAE 80W-90 (自動車用ギヤ油)** を使用してください。

高圧ポンプの潤滑油は200時間使用
(初回は50時間)、又は120日ごとに
交換してください。

高圧ポンプのオイル交換

- ①高圧、低圧配管を外す。
- ②ポンプ-モータ間のボルト (M10x4本) を外す。
- ③ポンプを反時計回りに回す。
- ④オイルサイトグラスをスパナで外して
オイルを抜いてください。
- ⑤ ①まで逆手順で戻します。

オイルサイトグラス、吐出口の高圧ホース
取付時は締めすぎに注意してください。
高圧ホース締付トルク参考値 **5N.m**



- ⑥オイルフィルターキャップから0.3Lを給油します。
給油後はオイルサイトグラスにて確認してください。

(SFJ1003)

- 前回のオイル交換から90日以上経過している場合は新しいオイルへ交換します。

オイルは **SAE 10W-30 (自動車用エンジンオイル)** を使用してください。

高圧ポンプの潤滑油は100時間使用
(初回は50時間)、又は90日ごとに
交換してください。
ポンプオイルはオイルフィルターホース
から付属のオイル差しで、0.1Lをゆっ
くり入れてください。

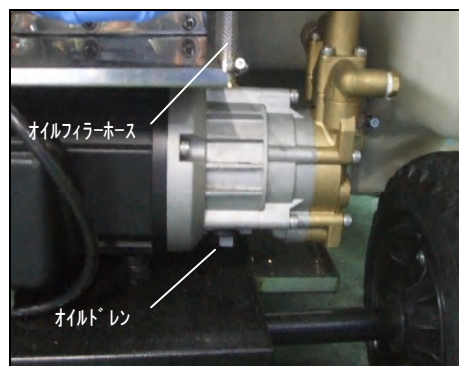


*油量大いと、オイルフィルターホースからオーバーフローすることがあります。

(SFJ2000)

- 前回のオイル交換から90日以上経過している場合は新しいオイルへ交換します。
オイルは **SAE 10W-30 (自動車用エンジンオイル)** を使用してください。

高圧ポンプの潤滑油は100時間使用(初回は50時間)、又は90日ごとに交換してください。
ポンプオイルはオイルフィルターホースもしくはオイルキャップから付属のオイル差しで、0.1Lをゆっくり入れてください。



*油量が多いと、オイルフィルターホースからオーバーフローすることがあります。

2) 試運転

- しばらく運転しない期間が続くと、ポンプのバルブがこう着して吸水不良となる場合があります。必ず試運転を行い、次の症状が出ていないか運転状態を確認してください。

運転手順は取扱説明書を参照してください。

シーズン最初のご使用時は、起動前に必ずエア抜きバルブを開いてから起動させ、5秒～10秒程度水を出してからご使用ください。配管内の異物が排出され、ノズルつまりの防止になります。また、水タンクも一旦溜めた水をコックから排出して、誤って混入したゴミ等を流し出すことをお勧めします。

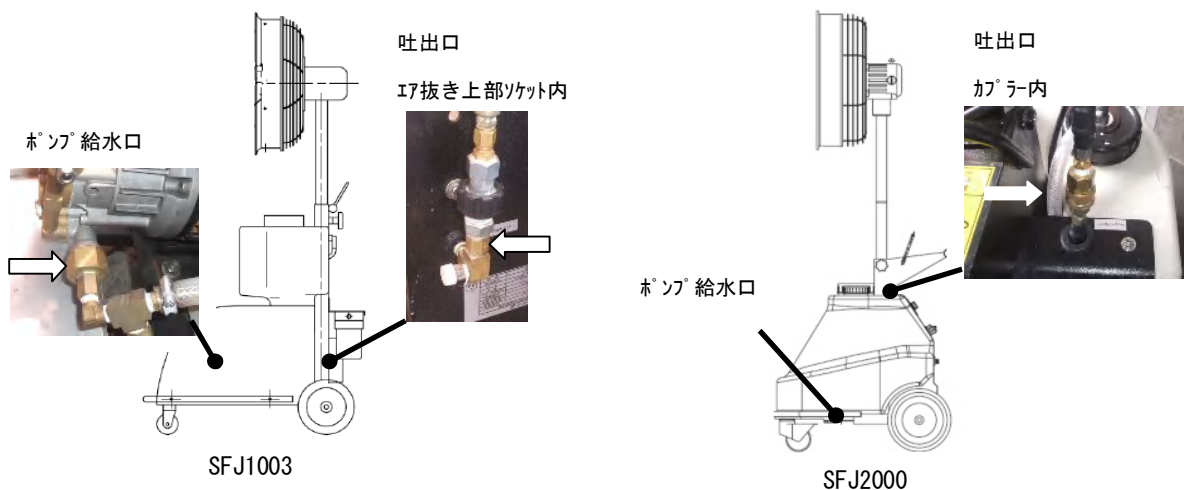
また、除菌洗浄も合わせて行っていただく事をお勧めします。(除菌洗浄 P8 参照)

- ・噴霧しない、噴霧が弱い。
 - ・高圧ホースが脈動し、異常に振動している。
 - * 正常時でも高圧ホースは少し振動します。
 - ・エア抜きバルブを開けたときに、エア抜きバルブから吐出される水が脈動している。
- 上記の症状がある場合はフィルターの詰まりや、ポンプのバルブこう着が考えられますので、次の手順にてフィルターまたはバルブを清掃し、症状が解消されたことを確認してからご使用ください。

フィルターの点検

- ・SFJ1003・SFJ2000は、背面のラインストレーナーの他に、吐出口・給水口にそれぞれフィルターを装着しています。（SFJ1000・SFJ1002は装着していません）

各フィルターの位置



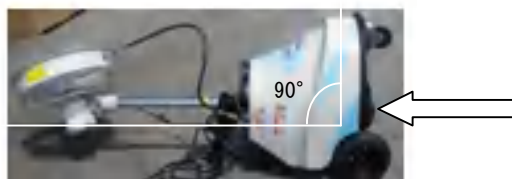
- ・ポンプ給水口フィルター

(SFJ1003)

モンキーレンチ等で、吸水口の六角ナットを外し、中のフィルターを取り出します。

(SFJ2000)

水タンク内の水を完全に抜いてから、本体をゆっくり背面を下にして寝かせます。



- * 機体の傾きは90°以内で、ゆっくり倒してください。
それ以上傾くと、オイルワイヤホースからオイルがこぼれることがあります。



機体の底からポンプ給水口のナットをプライヤー等で外し、中のフィルターを取出します。



フィルターを清掃して、逆の手順で取付ます。

- * SFJ1003・SFJ2000は同じフィルターです。

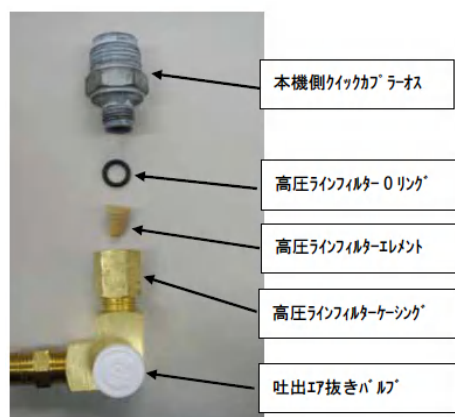
・吐出口フィルター

(SFJ1003)

フィルターケーシングとクイックカップラを外して、内部のラインフィルターエレメントを取出す。

エアブロー等で清掃もしくはエレメントを交換します。

*組付けの際、ネジ部分はシールテープを巻いてください。



(SFJ2000)

カップラー内のラインフィルターエレメントを取出す。

エアブロー等で清掃もしくはエレメントを交換します。



ポンプのバルブを清掃してこう着を解消する

(SFJ1000・1002)

①ポンプヘッドのバルブプラグを外す。

②内部のバルブを取り出し、弁のこう着を外し、清掃する。

③逆の手順で組込みます。

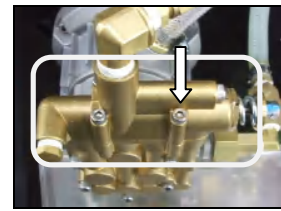


(SFJ1003・2000)

①ポンプヘッドのトップを外す。

*上部のボルト4本を外す

②内部のバルブを取り出し、弁のこう着を外し、清掃する。



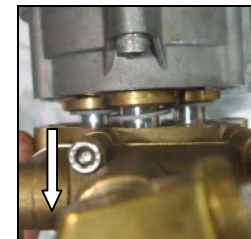
	<p>SFJ2000</p> <p>車輪の割ピンを抜いて、車輪を外してからポンプヘッドへアクセスします。</p>
---	--



③ポンプヘッドを引抜いて外す。

*前面のボルト5本を外す

組付けの時の為に部品の方向、位置をよく確認して分解してください。



④内部のバルブを取り出し、弁のこう着を外し、清掃する。

⑤ヘッドを逆手順で戻す。



リテーナ-の方向



⑥ポンプヘッドのトップ逆手順で戻す。

各個所のOリングの脱落・紛失に注意してください



Oリング

バルブを清掃しても症状が改善されない場合は販売店へご相談ください。

シーズンオフの保管準備

1) 水抜き

- 配管部の水を出来る限り抜取ります。

高圧ポンプ

- ①コックまたはドレンを開けて水タンクから水を抜く。
- ②水タンク内の湯水センサーフロートを少し持ち上げ、湯水停止を解除した状態を維持しておきます。
- ③モータを起動して水抜きを開始します。
- ④噴霧が無くなり、水抜きが終了したらモータを停止します。

本機から水が出なくなったら停止スイッチを押してください。
長時間の空運転は高圧ポンプの故障の原因となります。

ラインストレーナー

- ①カップを外し、中の水を抜く。
- ②カップやフィルターに付着したごみをエアブロー等で取り除く。
- ③給水口から異物や虫等が入らないようにカバー等の措置をしてください。

ラインストレーナーの点検要領は取扱説明書を参照してください。

フィルターは、次のシーズンインでのご使用時には新品に交換することをお勧めします。

2) ノズル清掃



別タイプのノズルも同様になります

- フォグノズルは上の写真のように分解できます。

付着している異物等を取り除き、乾燥させたあと、各 부품の向きに注意して元通り組付けてください。

フォグノズルの清掃要領は取扱説明書を参照してください。

フォグノズルを取外す際には、ネジ部のパッキンの紛失に注意してください。

フォグノズル組み付け時には、必ずノズルピンを忘れずにノズルヘッドに挿入してください。ノズルピンを忘れた場合、運転時に高圧水が直射されますので、直射水が人体に当たった場合ケガをするおそれがあります。

3) 水タンク清掃

- 水タンクを外して内部を清掃します。

水タンクの外し方 (SFJ2000除く)

- ① コックを開けて水タンクから水を抜く。
- ② ロックナットを緩め、水タンクキャップを外してボールタップを抜きます。



ロックナットを緩めずに水タンクキャップを回すとボールタップが破損します。

- ③ ポンプ吸水口のバイパスホースと、タンク背面のオーバーフローホースを外す。
- ④ フロートセンサのギボシ端子を外す。
* 本体カバーを外し、スイッチボックスの裏側にあります。
(※は水タンク下部に設置されています)

設置時は端子がボディ (金属部) へ触れないように注意してください。

- ⑤ タンク上部のステー固定ネジを外す (SFJ1000)、またはタンク背面の固定ネジを外す (SFJ1002・SFJ1003) とタンクが外れます。
* SFJ2000はタンクを外さずに、給水口から清掃してください。

水あか等ぬめりの除去

中性洗剤（市販されているキッチン用洗剤）をスポンジにつけて、内部をこすり洗います。その後に水でよくすすぎます。

除菌洗浄

シーズンインのご使用前には微酸性電解水で除菌洗浄を行う事をお勧めします。

<微酸性電解水>

微酸性電解水は pH5.0～6.5/塩素濃度 10～30ppm（食品添加物指定内）を示す殺菌効果の高い無味無臭の電解水で取扱いも安全です。

<洗浄方法>

水抜き(P6)を行い、微酸性電解水を 5L 程度水タンクの中に入れ、無くなるまで通常の噴霧運転を行います。

*「微酸性電解水」のお求めは販売店または弊社へご相談ください。

日常の水抜きについて

普段のご使用前には水タンク内の水を抜き、新しい水道水を入れてご使用ください。水タンク内に残ったまま 1 日以上放置すると水タンク内の水質が悪化している可能性があります。

4) 保管

- ファン、ファンモーター等にほこりがかからないような措置をして保管します。

ファンにほこりや粉塵等が多量に付着している場合はメッシュを外してファンを清掃してください。

本体は凍結しない場所で保管してください。また、不凍液等は吸入しないでください。

その他の定期メンテナンスは取扱説明書に従い行ってください。

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所	大阪府摂津市烏飼本町 5 丁目 3-7
〒566-0052	TEL (072) 653-2721 FAX (072) 653-2354
大 阪 工 場	大阪府摂津市烏飼本町 2 丁目 2-48
〒566-0052	TEL (072) 654-3990 FAX (072) 653-2912
東 京 営 業 所	東京都江戸川区中央 4 丁目 15-13
〒132-0021	TEL (03) 3653-2411 FAX (03) 3653-2420
名 古 屋 営 業 所	愛知県名古屋市緑区野末町 208 番地
〒453-0915	TEL (052) 626-3701 FAX (052) 626-3702
福 岡 営 業 所	福岡県粕屋郡志免町大字別府 599-3
〒811-2205	TEL (092) 622-6273 FAX (092) 622-6279
札 幌 営 業 所	札幌市白石区菊水 7 条 1 丁目 1-24
〒003-0807	TEL (011) 823-3661 FAX (011) 823-3666
サ ー ビ ス 工 場	大阪府摂津市烏飼本町 5 丁目 1-7
〒566-0052	TEL (072) 653-2721 FAX (072) 653-2354

<http://www.super-ace.co.jp> E-mail: info@super-ace.co.jp